



もしもに備えて。自分の命は自分で守る。
牛根児童クラブ防災学習を実施



4月4日、牛根児童クラブで防災学習が行われました。これは、同児童クラブの災害に関する避難確保計画に基づいて、利用する児童や支援員等が、風水害や桜島海底噴火による津波等、地域で起こりうる様々な災害に備えられるように公益財団法人垂水市シルバー人材センターが企画したものです。当日は、鹿児島県地域防災アドバイザーの村野剛さんを講師に迎え、牛根児童クラブの児童、支援員、牛根小学校の校長先生、牛根地区公民館長等が参加し、いつ起こるか分からない災害について学びました。座学終了後は、同地区で子ども食堂を運営する川筋貴子さんから非常食の提供を受け、災害時の食事についても学習しました。児童は「災害はいつ起こるか分からないところが怖いと思いました。今日教えてもらったことを忘れず、毎日を過ごします」と話し、支援員は「詳しくかつ丁寧に教えていただき、勉強になりました。いざという時は、私たち支援員が落ち着いて周囲の状況を判断し、子どもたちを守る行動をします」と話しました。参加した全員が真剣な眼差しで、いざというときに備えて、学習する姿がとても印象的でした。



▲真剣な眼差しで学習しました



▲非常食の大切さも学習しました。カレー美味しかったです



危険な運転はしないでね。交通ルールを守りましょう。
春の交通安全運動



4月6日、市役所新城支所前パーキングエリアで、春の全国交通安全運動の街頭キャンペーンが行われました。これは、毎年、春の全国交通安全運動の期間に、多くの方に交通安全思想の普及・浸透を図り、交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践を習慣付け、交通事故防止の徹底を図ることを目的に、全国各所で行われているものです。当日は、鹿屋警察署垂水幹部派出所の職員をはじめ、交通安全協会等の方々やさざなみ保育園の園児16人が参加し、園児手づくりの交通安全お守り等をドライバーに手渡し、交通安全の啓発活動に取り組みました。園児たちは「頑張ってお守りを作りました。運転をする人たちは、安全に運転してほしいです。横断歩道を渡る時は大きく手をあげて渡ります」と誓いの言葉を述べました。園児たちからお守りを受け取ったドライバーは「かわいなお守りももらえてうれしいです。園児たちの笑顔忘れず、交通ルールを守り運転をしていきたいです」と話しました。園児たちからのお守りを受け取り、安全運転への意識が高まったことでしょう。ドライバー、歩行者も交通ルールを守り、お互い笑顔で家に帰ることができるように、交通事故ゼロを目指しましょう。



▲園児による誓いの言葉



▲お守り作ったよ。交通ルールを守ってね。

勇気ある行動！
株式会社森組の従業員が人命救助

3月22日、鹿児島海上保安部で、株式会社森組に勤務する西菌さん、川畑さん、和田さん、中原さんに海難救助に対する感謝状が贈呈されました。今回の海難救助は、2月23日に牛根麓から作業船を曳航中に、転覆しているミニボートと漂流している人を発見し救助したものです。4人は、すぐに119番へ通報、地元の人々へ応援を要請し、救助された方は病院に搬送され、約2週間後に無事退院されました。和田さんは「広い海の上で偶然に発見し、その命を救うことができよかったです」と話しました。



▲左から西菌さん、川畑さん、和田さん、中原さん

犯罪予防の啓発
保護司の関係者が市長室を訪問

3月25日、鹿児島保護観察所所長、肝属保護区保護司会会長、垂水市保護司の方々市長室を訪れました。保護司とは、犯罪や非行をした方の立ち直りを地域で支える法務大臣から委嘱された民間のボランティアで、各地域の保護司会に加入し、犯罪予防活動、広報活動等の組織的な活動を行っています。現在、垂水市では10人が保護司として活動されています。保護司の皆さんの活動に敬意を表し、これからの益々のご活躍により、安心・安全な地域社会が実現することを祈念いたします。



▲木佐貫さん、尾臨市長、小畑さん（重吉さんは都合があわず欠席）

地元の山にアタック！
水之上小学校の児童が白山登山

3月4日、水之上小学校の6年生が、白山登山を行いました。これは、友だちと協力し絆を深め、登山の過程を通して、自分自身と向き合い、また自分たちが住む地域を良く知ってもらいたいと同小学校が企画したものです。当日は、児童12人と先生、地域の方々が参加し、全員頂上まで到達することができました。児童は「頂上から眺める垂水のまちはいつもと違うように感じました」と話しました。地域の方々により登山道も整備され、安全に登山することができ、卒業前の良い思い出となりました。



永年の勤務・功績が認められる
県土地改良事業団体連合会表彰

3月22日、木佐貫さん（本城）、重吉さん（新城）、小畑さん（高城）が鹿児島県土地改良事業団体連合会の永年勤続表彰、土地改良功労者表彰を受賞され市長室を訪れました。皆さんは、これまで田畑や農業用施設の整備等に尽力された功績が認められたことによる受賞です。木佐貫さんは「これからも垂水に住んで良かったと思ってもらえるよう精進します」と話し、小畑さんは「様々な人に支えてもらいました。今度は皆さんのために頑張ります」と話しました。この度の受賞、誠にありがとうございます。



▲木佐貫さん、尾臨市長、小畑さん（重吉さんは都合があわず欠席）